

平成29年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実 施 報 告 書

HT29052 プログラム名 私の選択～働き方を考える



開 催 日： 平成 30 年 1 月 27 日(土)

実 施 機 関： 北翔大学短期大学部

(実施場所) 543教室

実施代表者： 田口 智子

(所属・職名) ライフデザイン学科 教授

受 講 生： 高校生 1 名

関 連 URL：

【 目 的 】

本プログラムは、働くことの意義と仕事を通じたキャリア形成過程の重要性を理解することを目的としている。また、参加者の皆さんがキャリア形成過程をいかに辿るか、そのために自身の目標付けをすることの重要性を理解することを重視してプログラム化した。そして、自らの生活スタイルを構築し、労働生活の質を高めていくために、いかなる労働雇用形態を選択していくか、そのために何が必要か、受講者の将来の的確な選択ができることための学習機会とする。

【 研究成果を伝えるために留意、工夫した点 】

本研究は、日頃馴染みがない用語<派遣・受け入れ企業・派遣元企業・派遣労働法など>が多く使用されているため、ポイントを抑え、図式を用いて、①派遣労働とは何かを示し、労働者(登録者)と派遣会社と受け入れ企業の三者間の関係性を解説し、②職業紹介事業に関する民間企業への規制緩和された時期と派遣労働の発展性への関わりについて、日本と海外比較をしながらわかりやすく解説した。

解説には、現地で了解を得て撮影した写真を見せながら、より興味を持っていただけるよう工夫した。

【 受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点 】

派遣労働という聞きなれない雇用形態であり、正規雇用・非正規雇用という枠組みから課題を2段階に分けて提示し、段階ごとに考えを進められるよう課題提示法について工夫した。また、年齢の近い運営スタッフも加え、それぞれが課題について考えをまとめ、模造紙に個別にマジックの色を変えて記載した。それぞれの考えについて個別の考えを発表しながら、模造紙に記載されたそれぞれの考えを確認し、相互に関連づけながらグループ内で討議をするという展開法を採用した。こうした展開法により、それぞれの考えが活かされつつ、自分以外の考えへの理解が深まり、キャリア形成過程を考えるうえで、積極的な議論が成立したと考える。

【 当日のスケジュール 】

10:40-10:50 開講式

挨拶

オリエンテーション

科研費の説明

10:50-11:00 講義「派遣型労働の文化的国際比較研究」

講師 田口 智子

- 11:20-11:30 休憩（クッキータイム）
- 11:30-12:00 <テーマ1> 人はなぜ働くのか？
個々に考え、みんなで考えましょう！
- 12:00-13:00 昼食
参加者・運営スタッフ・講師みんなで和気藹々とした雰囲気の中で交流を深めました。
将来の目標なども相互に語り合い、キャリア形成過程を重視した本講座の趣旨に沿った意見交換会となりました。
- 13:00-13:05 午後の部説明・グループワークについて解説
- 13:05-13:20 <テーマ2> 働き方を考える<過去・現在・未来>
パーソナルワーク
・自分づくりの足跡
・正規社員と非正規社員のメリットとデメリットを考える
・自らのキャリア形成で大切なことを考える
- 13:20-14:00 グループワーク
- 14:00-14:10 休憩（クッキータイム）
- 14:10-14:30 グループワーク
- 14:30-14:40 グループ発表・質疑応答
- 14:40-15:00 修了式
未来博士号授与
記念撮影

【実施の様子】

課題への取り組み<パーソナルワーク> ・ 意見交換<グループワーク>



未来博士号授与



記念写真



【 広報活動について】

- ①大学の広報部署と連携し、北海道内の高等学校に対して本事業のチラシ同封を依頼した。
- ②大学オープンキャンパス等で、来場者に本事業をPRした。
- ③高大連携高校、近隣高等学校、中学校、学習塾へ本事業をPRした。
- ④市役所、図書館、市民会館へのチラシ設置を依頼。

【 安全配慮 】

- ①天候が不安定な時期にあたり、指導教員および事務担当者より事前電話連絡を入れてフォロー体制を整備した。
- ②参加学生の迎え入れにおいて、玄関より運営学生が迎え入れ、不安や迷いを除去できるよう、心理的安全性を確保した。
- ③個人情報の取り扱いについて、学内規約に基づいて取り扱い、個人情報の取り扱いに十分に配慮した。
- ④本企画終了後、所定の場所まで見送り、スムーズな帰路を確保した。

【 事務局との協力体制 】

事務局には、下記の業務を依頼した。

- ①企画書・業務委託契約書・実施計画書・報告書の取り纏め、発送、変更・修正等の手続き業務、各書類の保管
- ②委託費の出納管理、収支報告書の作成
- ③学術振興会への不明点・確認事項の照会業務。連絡調整
- ④傷害保険契約業務
- ⑤学内においてHP掲載依頼、学内への周知業務
- ⑥パンフレット、高等学校への郵送物発送
- ⑦当日の写真撮影及び参加者への写真・資料送付

【 今後の発展性、課題 】

労働・雇用にかかる課題は、社会的にどの機関においても共有されるものであり、時代変遷と共に人財育成の課題は重要であると考えます。

今後、こうした労働・雇用にかかる課題を従来から構築している大学教員間や経済界、行政等のネットワークに加え、高校や中学などのネットワークを広げ、情報共有する機会を増やしていくことが大切であると考えます。それにより、今回のひらめきときめきサイエンス企画採択の機会に対して、もっと教育効果を広めていける機会として最大限に活かしたのではないかと考えます。

【実施分担者】

大関 慎 北翔大学短期大学部学部長・ライフデザイン学科長・教授

【実施協力者】 3 名

【事務担当者】 総務部 総務課長 長堀 一之
総務課主査 千広 敦子